



大門小だより 10月号



学校
だより

令和8年 9月28日
横浜市立大門小学校

学校 HP(今日の給食を毎日掲載。学校の様子も定期的に更新！) <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/daimon/>

子どもの成長を支える「見守る力」

副校長 小野 幹雄

朝夕には少しずつ秋の気配が感じられるようになりました。校内では、スポーツフェスティバルに向けた学習が本格的に進んでいます。子どもたちは、よりよい演技や競技を目指して仲間と声を掛け合い、力を合わせながら取り組んでいます。その真剣な表情からは、「みんなで一つのものをつくり上げよう」という思いが伝わってきます。

さて、本校では今年度、算数科を中心とした校内研究を進めています。授業では、子どもたちが問題に向き合い、自分の考えをもちながら、友達との対話を通して学びを深めていくことを大切にしています。

先日、ある学級の授業で印象的な場面がありました。課題を前にして考えがまとまらず戸惑っている子がいました。教師がすぐに答えやヒントを与えるのではなく見守っていると、隣の席の友達が自然に声を掛けました。「どうしたらできるかな。」「こう考えてみたらどうかな。」と互いの考えを伝え合ううちに、その子も少しずつ自分の考えをもてるようになりました。学習の終わりには、達成感に満ちた表情を見せていたことがとても印象的でした。

学校生活には、学習だけでなく、友達と協力すること、自分の思いを伝えること、相手の考えを受け止めることなど、多くの学びが詰まっています。時には思い通りにいかずに悩んだり、友達との考え方の違いに戸惑ったりすることもあるでしょう。しかし、そのような経験の一つひとつが、子どもたちの成長を支える大切な糧となります。

私たち大人は、子どもが困っている姿を見ると、つい手を差し伸べたり、答えを教えたりしたくなります。しかし、自ら考え、仲間と対話しながら課題を乗り越えていく経験は、これからの社会を生きていく上で欠かすことのできない力につながります。もちろん、安全面や人権に関わることについては学校が責任をもって対応しますが、日々の教育活動の中では、必要な支援を行いながら、子どもたちの挑戦を温かく見守ることを大切にしています。

子どもたちには、自分の人生を自分で切り拓いていく力を身に付けてほしいと願っています。これからも学校生活のさまざまな場面を通して、主体的に学ぶ力や対話によって課題を解決する力を育ててまいります。そして、こうした力は、学校だけでなく、ご家庭での励ましや見守りも非常に大切です。学校と家庭が同じ思いで子どもたちの成長を支えながら、一人一人の挑戦を温かく見守っていきたいと考えております。今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。